

有機栽培ワイン用ぶどうを病害虫から守る

概要 Abstract

- ・病害虫の種類と発生の様子を明らかにしました。
- ・取り組みやすい防除対策の効果を現地ぶどう園で実証しました。

成果 Results

重要なのは4病害5害虫

病害虫名	主な被害部位					発生時期					
	葉	新梢	花穂	幼果	果房	5月	6月	7月	8月	9月	10月
黒とう病	●	●	●	●							
灰色かび病			●	●	●						
べと病	●		●	●							
晩腐病					●						
ツマグロアオカスミカメ	●	●	●								
ブドウハモグリダニ	●		●								
ブドウスカシクロバ	●			●							
マメコガネ	●										
イッシキブドウトリバ				●	●						

*:園内で発生・被害が認められる期間を示す。この内の太線は発生が生育・収量に影響すると考える時期



黒とう病



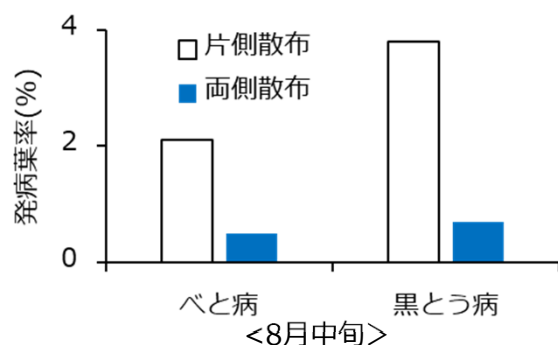
べと病



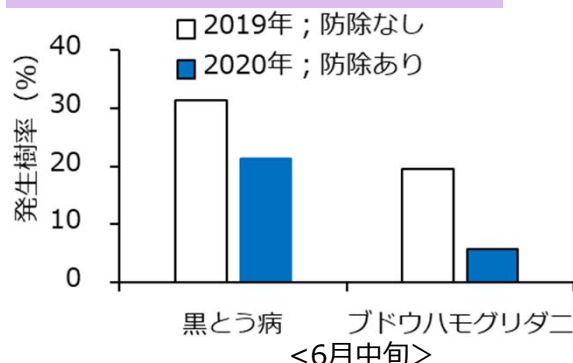
ブドウハモグリダニ


イッシキ
ブドウトリバ

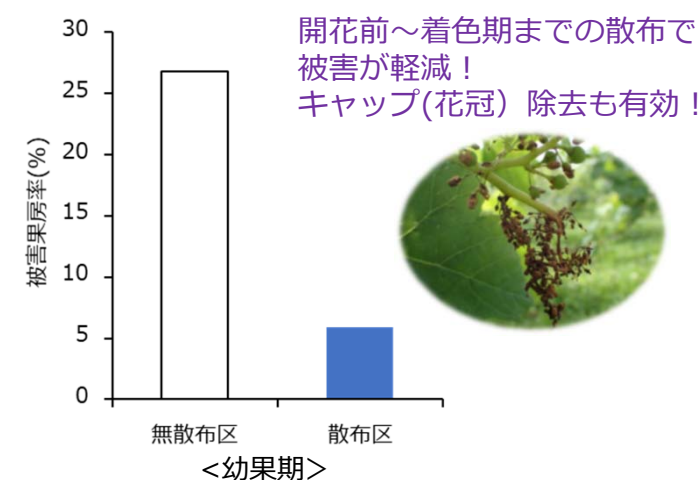
垣根の両側にしっかり散布



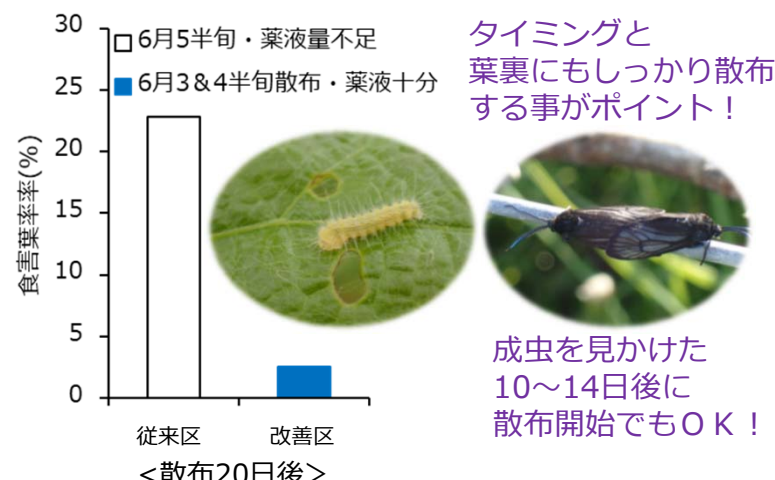
休眠期防除で越冬病害虫対策



微生物農薬で灰色かび病対策



微生物農薬でブドウスカシクロバ対策



普及 Dissemination

- ・有機および有機志向栽培のワインぶどう園でご活用下さい。
- ・各種病害虫の写真は当GのHP上で令和3年3月末に公開します。

連絡先 Contact

中央農業試験場
病虫部 病害虫グループ
0123-89-2291
central-agri@hro.or.jp